



卒業しよう！

先日も、イジメらしきものにあった苑田です、、、。

初対面の女性だったけど、ホントに感心したから、別に声かけちゃいけないと思わなかったので、エレベーターを待ちながら、「上手かったねえ！」って言ったけど無視されました。

が、もう一人が、「本当に上手かったわあ！あなたに決まりよ！」と言ったので、苦々しい顔して振り向いた、、、。

どうして機嫌が悪いんだろう、、、。

その人から、何年位やってるの？って尋ねられて、1年程度よって返事したけど嘘だと思うし。

担当者が、彼女の経歴に驚いてたじゃないか、、、。

そして、私に向かって、「私も講師やってるし！」って言ったけど、最初無視しておいて、そこで私に振られても困る。

が、あんなに腕が上の人からライバル視されるって事は、プレゼンは私の方が優秀とかあったんだろうな。

この種の事は、イジメとは呼ばないだろうしね。

そして、彼女にしたら、ホメるだなんて、余裕こいてるわけ？みたいな怒りがあったのかもかもしれないし、、、。

で、クヨクヨしました、、、。

サミイも会社でイジメにあってます。

内容を聞いたら、そりゃあもうエゲツナイ、、、。

ついに初めて、辞めろと勧めました。

辞めてどうしたらいいかわからないとの事ですが、今の精神状態で決められるワケないです。

休養していれば、いいアイデアが湧くかもしれない。

行動力がない人って、行動してもっと悪い事が起きるって決めていますよね。

追い詰められた人間の底力を信じてみてもいい気がします。

サミイの場合は、何のかんの言っても会社にいたいみたいなので別ですが。

死んだら楽かなってサミイは言いました。

死ぬ前に知らせてくれと言っておきました。

絶対とは言い切れませんが、サミイが私を思い出してくれれば、死なせません。

今のサミイは、想像つかないと思うけど、まだまだ出来る事も楽しい事も待っているって私には分かっているので、死ぬのはサミイの自由だとは言ってあげられない。

サミイにとって、私がどこまで真の友かによっても、私が支えてあげられる程度が変わってきます。

それは、サミイが決める事。

毎日、サミイは、とっても辛いのです。

それが私には分かってるって、サミイが信用できないと、サミイは本当に消えてしまうかもしれません。

大きな事件、小さな事件、誰にもあります。

私はどうせなら、喜んでデカいのを引き受けます。

できない事を数えてもキリがないです。

寝る前には、できた事、嬉しかった事を思い、明日やりたい事を考えて楽しみに思いながら眠るようにしています。

そして、「要らないモノ」は、棄てるようにしています。

思い立ったら卒業！です。